

## 小学校 活用8

4

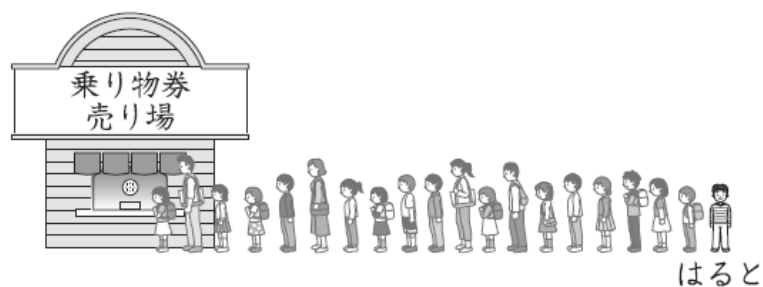
はるとさんたちは、遊園地に来ています。

(1) 乗り物券を買うために列に並びました。

はるとさんは、だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知りたいと思いました。

はるとさんは、前から数えて20番目でした。

列に並んでいる人は、同じ進みぐあいで進んでいます。



だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るためには、何を調べればよいですか。

下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 5人で何mの列になっているか。
- イ 5mで何人並んでいるか。
- ウ 5分後は何時何分になっているか。
- エ 5分間で何人買ったか。

(2) 次に、はるとさんたちは、観覧車かんらんしゃに乗るために列に並んでいます。

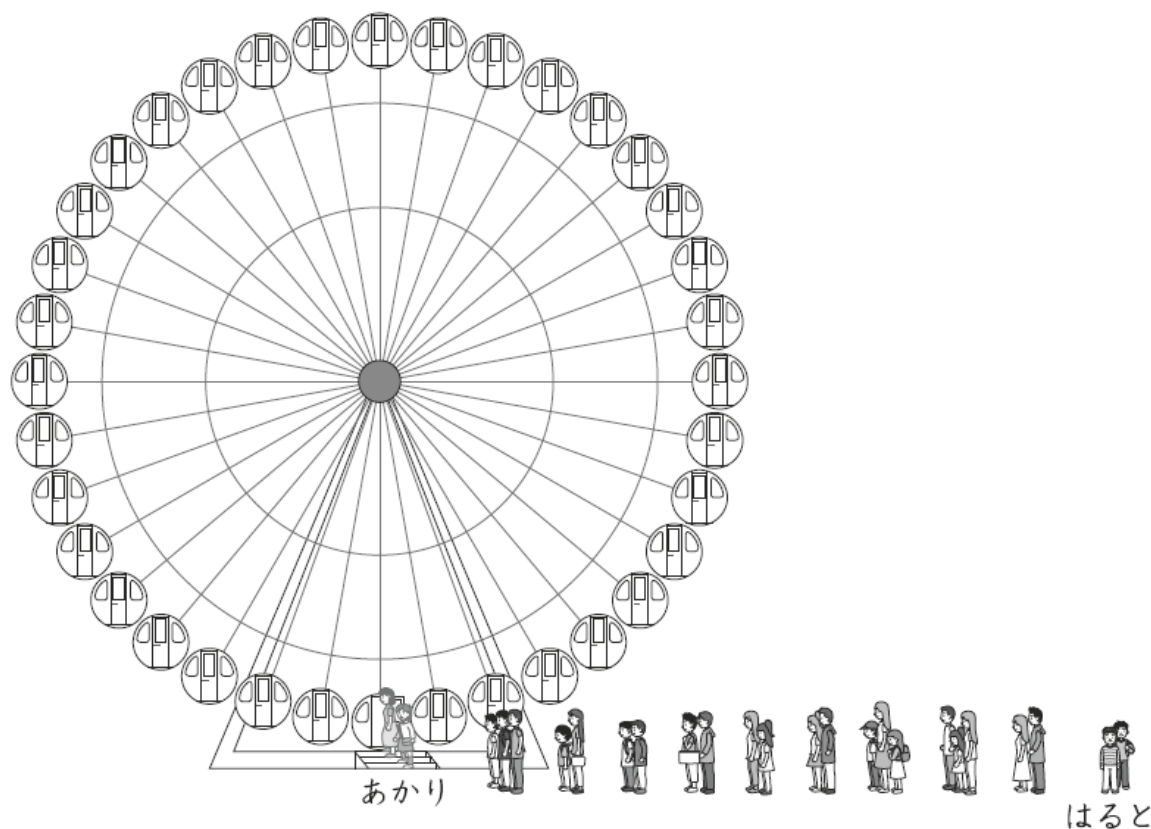
観覧車のゴンドラは36台で、ゴンドラ1台に1組ずつ乗ります。ゴンドラは1台来るのに20秒かかります。

今の先頭はあかりさんたちです。はるとさんは、あかりさんたちの10組後ろにいます。

あかりさんたちがゴンドラに乗ってから、はるとさんが何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを考えます。

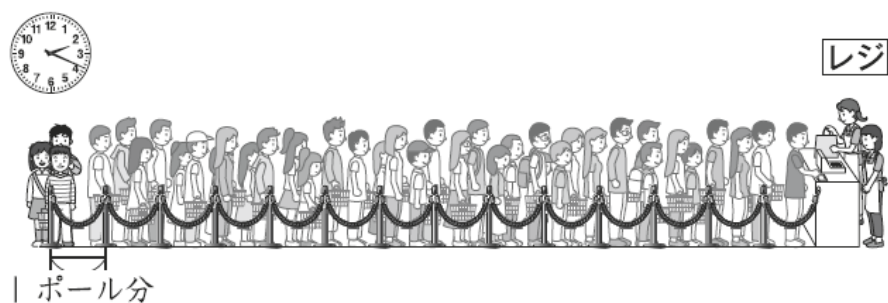
はるとさんがゴンドラに乗ることができるのは何秒後かを求める式を書きましょう。

ただし、計算の答えを書く必要はありません。

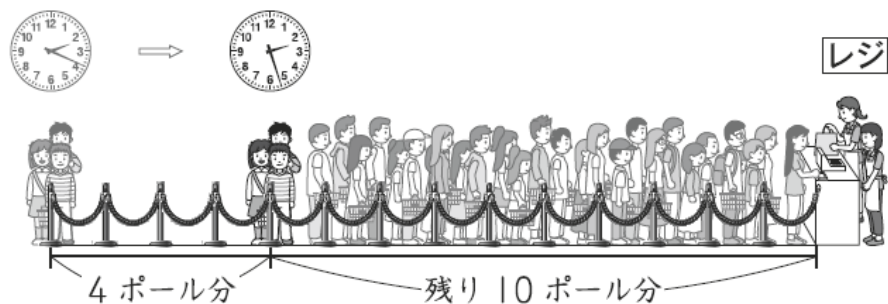


(3) はるとさんたちは、限定商品を買いたいと思っています。次の予定があるので、午後3時までにはレジに着きたいと考えています。

列に並ぶと、レジまでは14ポール分ありました。ポールとポールの間の長さはどこも同じです。



はるとさんたちが並んでから、4ポール分進むのに8分間かかり、残り10ポール分になりました。午後3時までには、残り33分間です。そこで、33分間以内にレジに着くことができるかどうかを考えてみました。



はると

4ポール分進むのに8分間かかったことから、残り10ポール分も同じ進みぐあいで進むとして考えます。

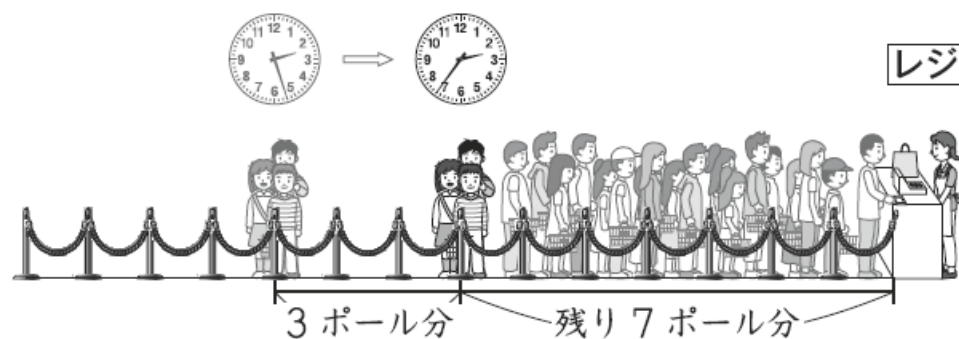
$8 \div 4 = 2$  で、1ポール分には2分間かかります。

残り10ポール分なので、 $2 \times 10 = 20$  で、20分間かかります。

だから、33分間以内にレジに着くことができます。

ところが、レジにいる店員さんが減ってしまいました。それからは、3ポール分進むのに9分間かかり、残り7ポール分になりました。午後3時までには、残り24分間です。

そこで、はるとさんたちは、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを、もう一度考えてみました。



あかり

3ポール分進むのに9分間かかったことから、残り7ポール分も同じ進みぐあいで進むとして考えます。

3ポール分進むのに9分間かかる進みぐあいで進むとすると、残り7ポール分進むのにかかる時間は何分間ですか。

求め方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

さらに、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを、下の

**1** と **2** から選んで、その番号を書きましょう。

**1** 着くことができる。

**2** 着くことができない。

# 小学校 活用8 解答用紙

実施日 月 日 ( )

4	(1)	(2)	式
	(3) 求め方		
	答え	分間	番号

## 小学校 活用8 解答

実施日 月 日 ( )

4	(1)	工	(2)	式	$20 \times 10$
	(3) 求め方 (例) $9 \div 3 = 3$ で、1 ポール分には3分間かかります。 残り7ポール分なので、 $3 \times 7 = 21$ で、21分間かかります。				
	答え	21 分間	番号	1	